

日韓市民ネットワーク・なごや

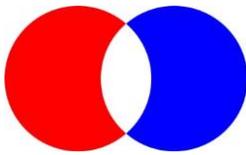
한일 시민 네트워크 · 나고야

会報 No. 60
2012 - 5 - 2

Home Page : <http://www.nikkannet.jp/>

発行者 : 後藤 和晃
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238
TEL/FAX 0587-56-6788

朱色



紺青

目次

- | | | | |
|-----|------------|------|--------|
| P 1 | 巻頭特別寄稿 | 顧問 | : 李 尚勲 |
| P 2 | 事務局通信とお知らせ | 統括幹事 | : 後藤和晃 |
| P 7 | 会員の広場 | 会員 | : 加藤 勝 |
| P 8 | 編集室から | 事務局 | : 有志 |

巻頭特別寄稿

足かけ 15 年を振り返って

本会顧問・大字ジャパン名古屋 課長 李 尚勲 氏

日韓市民ネットワーク・なごやが発足したのは、1998 年の 2 月でしたから、今年でもう 15 年目を迎えていますね！

これほど長く、会員の、皆さん方が韓国の市民や在日の方々と多彩で意義のある交流を続けてこられたことに心からお礼を申し上げます。

さて、発足当時の事です。私は名古屋国際センターの第 20 代民間大使として、韓国をよく知ってもらおうと、韓国理解講座の充実に懸命の努力をしていたことを懐かしく思い出します。当時の日韓の関係は「近くて遠い国」という表現が説得力を持っていた時代で、今のような韓流ブームは、全く予想もできない状態でした。



しかし、2002 年夏頃から日韓交流の歯車がゆっくりと大きく廻り始めました。2002 年は日本と韓国がサッカーのワールドカップを共催することで両国の間に、相手国に対する関心が、それなりに盛り上がってきたのです。そして NHK がドラマ「冬のソナタ」を放送すると、一気に“ヨン様”ブームに火がついて、以後、「チャンダム」から「イ・サン」へと韓流ブームの炎が盛り上がりを見せたのです。

こうした中で日韓市民ネットは韓国各地の大学や有力団体と次々に縁を結んで交流の輪を広げてきましたね！私も、たびたび交流団とのパーティに出席させてもらいました。そんな時、高麗大学や光州 YMCA などとの交流団の大学生たちが、奈良旅行を体験し、名古屋でホームステイすることで自分の持つ「日本人観」を大きく修正し、別れの涙を流していたことに感銘を覚えたものです。

交流団の学生が、いったん帰国した後、「留学するなら日本へ！」と、名古屋や東京に留学してきた話も、よく聞いて嬉しく思ったものです。交流団のホームステイは、毎回、真夏のことでしたので、ホストのご家族は、さぞ大変だったことでしょう。言葉のやりとりにも苦労が多かったと思います。皆さんの協力に心から感謝申し上げます。



また韓国・大邱市の寿城池の辺りには、この貯水池を造ったことで「大邱農民の恩人」として称えられ、今なお追慕祭が開かれている故水崎林太郎翁が岐阜県加納町の出身だった縁から、翁の子孫や日韓市民ネットの会員と大邱の市民との交流が、これまで継続してきたものも嬉しい話です。

さらに日韓市民ネットは、名古屋に来ている留学生を毎年のように犬山市の「八曾自然休養林」に招待して、山歩き、水遊び、バーベキューなどで交流していただきました。焼き肉の火を起そうと年輩の方々が汗をタラタラ流しながら、目を赤くしてがんばっておられる姿が脳裏に焼きついています。川で釣った魚を刺身にしていただいたのも忘れられません。

足かけ 15 年、日韓の市民と学生が心をつなしながら同じ方向をめざしてきました。互いに理解しあえることは素晴らしいことと思います。こうした会の活動が今も続いていることに頭が下がります。リーダーの後藤和晃さんを始めとする全ての会員の皆さんに心から「ありがとうございました！」と申し上げます。

これからも小さくとも“交流する喜びと感動を与え続けることができる”日韓市民ネットワーク・なごやであり続けて欲しいと願っています。



事務局通信

사무국 통신



水崎翁追慕祭延期へ ～ 6 月実施を検討中 ～

事務局 統括幹事 後藤和晃

韓国、大邱（テグ）市では毎年、4 月、戦前に農業用水池として寿城池を造成し、250 万坪の美田を実現させた“大邱農民の恩人”水崎林太郎翁（岐阜県出身）の追慕祭が開かれてきました。

日韓市民ネットワーク・なごやでは、1999 年以来、徐彰教さんの心意気に共感して、追慕祭には水崎翁の子孫などと共に極力、参加するようになってきました。今回も事務局が参加するつもりで航空券を手配してありましたので、徐さんの見舞いを兼ねて追慕祭の行方を聞いてきました。

今年は 4 月 17 日の予定でしたが、事情があって一旦、延期となっています。事情というのは、水崎翁が昭和 14 年（1939）に逝去してしまい、70 年余りこの墓を守り続けている現地の徐（ソ）一族の当主である徐彰教（ソ・チャンギョ）さん（80 歳）が、3 月に心臓発作で入院せざるをえない事態が起きたからです。主催者を欠いては追慕祭の実施はできないと、ひとまず 4 月 17 日の予定は後日に移すことになったのです。

事務局の後藤が大邱に着いたのは 4 月 16 日の夜、退院し自宅で療養中の徐彰教さんの笑顔に迎えられ、まずはホッとしました。そして本来ならば追慕祭が開かれる筈だった 17 日の朝、徐さんと、



水崎翁の墓に参りました。2年ぶりに見る墓は前よりもずっと良く整備されていました。これまでの墓の表面を覆っていた苔が、はげ落ちてきたため、苔を全て取り払い、芝生に張り替えてあったのです。うす緑色の芝の上に桜の花びらが美しく散って、目にも鮮やかな風景でした。



墓の横の案内板もスチール製から温かみのある木製に替わり、水崎翁の業績や墓を守ってきた経緯が分かりやすく、ハングルと日本語で記されています。



徐彰教さんは、追慕祭を中止にすることは極力、避け、地元の寿城区の区長などと、打ち合わせしながら、6月半ばごろにも開催したいと話されていました。水崎翁が世を去って七十有余年、今もその恩恵を忘れない大邱の人々によって追慕祭が行われる限り、日本側からも遺族を始め、多くの人々が参加したいものです。

しかし水崎翁の子孫が追慕祭に参加できる可能性は年々難しくなっています。当初、参加されていたのは、翁の長男の元（はじめ）さんの息子さん達で、全員大邱で幼少年時代を送っていました。翁から見れば孫にあたる久弘さん、弘三さん、五美さん達は、ここ6~7年以内に皆さん亡くなっています。最近では翁の娘さんの血統を受け継いでいる小野裕美さん（翁の曾孫）の一家3人が3回続けて追慕祭に出席されました。

長男の陽平君は最初は1歳4ヶ月、2回目が3歳、3回目は5歳という年齢で物恐じしない子だったため、追慕祭のアイドルとして、大邱の人たちから大変、可愛がられました。この陽平君も、この4月に小学校に入学したため、小野さん一家の訪韓も難しくなっています。

いずれにしても、大邱の人々が水崎翁を忘れず追慕祭を続けて行くとするなら、日本側も遺族や岐阜の関係者、日韓市民ネットの会員等々が連絡を取り合って、出来るかぎり式典に出席したいものです。



6月ごろに韓国訪問を考慮中の会員の皆さんは、大邱経由の旅行日程も検討していただくよう要請します。



会の活動報告とお知らせ

모임의 활동 보고와 통지

3月18日、名古屋国際センター研修室にて第15回総会が開催されました。(30名出席)例年通り前年度の実績や会計報告、そして今年度の事務局態勢や行動計画などが拍手で承認されました。各項目については下記にそれぞれ掲載しますので十分目を通しておいってください。

“日韓市民ネットワーク・なごや” 2011年度 実施行事

月	日	曜日	行 事	備 考
4	17	日	日韓交流史講座Ⅳ文明の十字路口・海峡の島々ー1 地理で見る対馬・壱岐・北九州	日比谷高校教諭 武井 一 氏
5	3～5	火～土	日韓の高校生交流を支援	グループ“ハムケ” 久田 光政 幹事
	21	土	日韓交流史講座Ⅳ文明の十字路口・海峡の島々ー2 海峡を渡った弥生文化 ～原三国の集落と弥生の集落～	福岡大学教授 武末 純一 氏
	22	日	日韓交流史講座Ⅳ文明の十字路口・海峡の島々ー3 古墳時代以後の遺跡	福岡大学教授 武末 純一 氏
	28	土	“日韓学生市民”交流の森	犬山市 八曾自然林
6	19	日	日韓交流史講座Ⅳ文明の十字路口・海峡の島々ー4 海峡の島の宗教世界	奈良県立図書館情報館長 千田 稔 氏
7	6	水	韓日歴史・文化フォーラム 大韓帝国留学生たちの苦難の道	日比谷高校教諭 武井 一 氏
	17	日	日韓交流史講座Ⅳ文明の十字路口・海峡の島々ー5 倭寇 奔る 海峡	名古屋大学教授 高橋 公明 氏
	22～26	金～火	高麗大学生訪問団受け入れ 奈良旅行とホームステイ交流の夕べ7月24日(日)	会員・留学生・協力者
	22～25	木～日	日韓中放送人フォーラム テレビと大震災 ～ 日本・札幌 ～	事務局統括幹事
9	27～30	火～金	日韓交流史講座Ⅳ文明の十字路口・海峡の島々ー6 海峡の島々紀行 ～対馬・壱岐・北九州～	九州歴史資料館館長 西谷 正 氏
10	19	水	韓日歴史・文化フォーラム 韓流ブームはこうして始まった！	NHKチーフプロデューサー 小川 純子 氏
11	3	祝	日韓交流史講座Ⅴ高句麗・渤海シリーズー1 地理で見る高句麗・渤海	日比谷高校教諭 武井 一 氏
12	10	土	日韓交流史講座Ⅴ高句麗・渤海シリーズー2	早稲田大学教授 李 成 市 氏
2012年				
1	7	土	話してみよう韓国語・日本語大会 ～ 名古屋・国際センター ～	実行委員会に参加
	14	土	日韓交流史講座Ⅴ高句麗・渤海シリーズー3 高句麗・華麗なる遺産	滋賀県立大学教授 田中 俊明 氏
	14	土	日韓学生・市民新春交流会 ～ 名古屋・会館琥珀 ～	会員・顧問・協力者等
	20	金	韓日歴史・文化フォーラム 新羅と日本	韓国慶北大学教授 朴 天 秀 氏
2	19	日	日韓交流史講座Ⅴ高句麗・渤海シリーズー4	国学院大学教授 鈴木 靖民 氏
3	18	日	日韓交流史講座Ⅴ高句麗・渤海シリーズー5 大国・渤海の残影	金沢学院大学教授 小嶋 芳孝 氏
	18	日	第15回総会 ～ 名古屋国際センター ～	

この他に4月と7月、9月、11月、2月に 計5回 会報を発行しました。

2012年度 日韓市民ネットワーク・なごや 組織表

顧問 問 団	名誉顧問	鄭 煥 麒	交 流 R	徐 彰 教	韓国での交流			
	"	横 内 恭		武井 一	日韓交流史			
	"	伊藤 秋男		宮本 昌子	日本語指導			
	代表顧問	石原 俊洋		加藤 勝	囲碁交流			
	顧問	尹 大 辰		伊藤 義郎	歴史・考古			
	顧問	李 尚 勳		土岐 良文	歴史・考古			
全 員 事 務 局 兼 務	統括幹事	後藤 和晃	事 務 局	事務局長	後藤 和晃	世 話 焼 G	増田 一夫	松田 哲育
	副統轄幹事	鈴木幸之助		事務局次長	鈴木幸之助		佐藤 昭子	山田あき子
	幹事(会計)	伊藤みつ子		事務局次長	東 道生		山田 雅樹	山本 玲子
	幹事(渉外)	大嶋 明		幹事兼務グループ				
	幹事(留学生)	須田奈保美		事務局補佐	鈴木奈津子			
	幹事(高・大生)	久田 光政		事務局補佐	鈴木 真由			
			事務局	武田 章敬				
			監査	会計監査	大久保孝造			

2011年度 会計報告書

2011年4月1日 ~ 2012年3月31日

前年度繰越金	¥	555,309
今年度収入額	¥	533,106
今年度支出額	¥	508,556

次年度繰越金	¥	579,859
内訳 郵便貯金		550,000
現金		29,859

収入の部		支出の部		2008-10 平均
① 今年度会費	323,000	① 通信費	209,995	203,822
¥4,000×78名		会報・案内・資料送付	89,995	107,155
¥2,000×4名		事務局電話等活動費用	120,000	96,667
¥3,000×1名		② 印刷・コピー費	45,601	39,877
② その他の収入	209,902	③ 事務用消耗品費	41,422	38,317
4/6 懇親会 残金	590	④ 日韓交流関係費	49,492	107,502
7/24 高麗大訪問団 寄付残	51,812	⑤ ホームページ運用費	44,940	47,607
1/7 新年交流会・残金	50,500	⑥ 会議・会場費	10,976	10,107
夏・光州訪問団接遇預り金	100,000	⑦ 協力者謝礼	53,711	92,420
会費納入時の寄付	7,000	⑧ 交通費・下見費用	51,999	76,455
③ 受取利息	204	⑨ 雑費・手数料	420	27,170
計	533,106	計	508,556	643,277

※ 会費や寄付金等のお振込の際の郵便振替口座は 入金があり次第、即現金化をしておりますので、この報告書では 全て現金勘定扱いとして記載し、郵便振替口座収支の報告は省略させていただきます。

2012年3月18日 上記の通り報告いたします。 会 計 伊藤みつ子
監査の結果、正確であることを認めます。 会計監査 大久保孝造

“日韓市民ネットワーク・なごや” 2012年度 年間行事予定

月	日	曜日	行 事	備 考
4	15	日	日韓交流史講座Ⅴ 高句麗・渤海シリーズ－6 日本と渤海の交流	金沢学院大教授 小嶋 芳孝 氏
	16～ 18	月～ 水	水崎林太郎翁追慕祭に参加 ～ 韓国・大邱市寿池 ～	事務局 後藤・鈴木
	未頃		会報60号 発行	事務局など
5	3～ 5	火～ 土	日韓の高校生交流を支援	グループ“ハムケ” 久田 光政 幹事
	23	水	韓日歴史・文化フォーラム 18:00～ 外国人と日本人の共生・アジアの環境問題	三重大学福学長 朴 恵 淑 氏
	27～ 6/3	日～ 日	日韓交流史講座Ⅴ 高句麗・渤海シリーズ－6 高句麗・旧満州紀行 ～ 大連・瀋陽・集安・長春・延吉 ～	九州歴史資料館館長 西谷 正 氏 日比谷高校教諭 武井 一 氏
6	未定		映画「白磁の人」上映開始 ※ 鑑賞推奨運動	可能ならば韓国人会館での 上映も
7	未定		会報61号 発行	事務局など
8	2～ 6	木～ 月	光州学生訪問団受け入れ 奈良旅行 8/2～8/3 ホームステイ 8/3～6 交流の夕べ 8/5(日)	会員・協力者
9	未定		会報62号 発行	事務局など
10	14	日	留学生・人道の丘ハイク・岐阜県八百津町 ～ 命のビザの千畝との出会い ～	留学生・有志
11	未定		会報63号 発行	事務局など
2013年				
1	5	土	話してみよう韓国語・日本語大会	実行委員会に参加
2	9	土	日韓市民ネットワーク・なごや 15周年交流会	会場・琥珀会館
3	20	祝	第16回 総会	国際センター研修室



こちらでは会員の皆様の声を載せております。皆様から、「会員のみんなに伝えたい!」「韓国のここが好き!」は勿論、「こんな旅行して来た」等、日々の暮らしの様子などの皆さんの声を是非、お送り下さい。

こども囲碁先進国への訪問交流を振り返って

会員 加藤 勝

日韓市民ネットワークの皆さん こんにちは!

囲碁のお稽古活動や対局を通しての交流会を、小中学生のこどもの頃に一生懸命に体験することが、人間形成や人格教育には最高の教育道具であると信じています。その思いは教職を退職する直前よりきわめて強くなり、私自身が囲碁の勉強をする動機にもなってきました。

囲碁の勉強を再開してみると、益々囲碁ゲームの魅力にとりつかれるようになりました。そんな時節、教員の性もたげて来て、それならば退職後は、こども達に囲碁の魅力と囲碁の教育性を活用して、囲碁の普及をお礼奉公に使いたいと考えようになったのです。

そんな頃に囲碁が大好きな済州島出身の在日韓国人と知り合いになり、その友人のお世話で、その頃始めた“囲碁塾”のこども達数人を連れて、済州島のこども囲碁教室へ交流訪問に行ったのが最初でした。韓国済州島での数回の訪問交流の経験から気づいたことが、日本には無いこども囲碁教室の韓国全土での設置普及やその組織力の確立状態です。韓国での囲碁教室の普及網に強い関心を持ったのが更なる動機になって、翌2001年には済州島の教室からの紹介で、こども囲碁普及の本拠地のソウルにある“こども囲碁教室協会”の会長さんと事務局長さんが経営する両囲碁教室と3泊4日の定期交流が始まりました。

定期交流1年目と2年目は、参加した名古屋側の棋力レベルの低さもあって、対戦成績はとてつもないものでした。ただ両教室のご配慮で名古屋側の棋力レベルに見合った対戦相手を取り替え、引き替えていただき、やっと僅差の負け越し成績が常でした。

対局交流会終了後は和気あいあいと夕食交流会をしました。その経費は名古屋側が全額負担し、焼肉等の韓国料理店は教室側に予約してもらいました。食事交流会では、こども達も大人達も言葉は片言でよく通じないが、すぐに解け合って本当に楽しい2時間を過ごすのが毎対局後の友好交流会の姿になっていました。この楽しそうな姿を見る

につけ、その経験が隣国への関心と理解につながるのだと確信したことを覚えています。

ソウルでの交流が3年目の夏の交流会になると、名古屋側の棋力レベルも上がって、初段レベルでは棋力が対等近くまでに追いつき、こども囲碁の先進国に近づいた効果が見えてきました。その年の12月には突然、体調に違和感をおぼえ救急車で緊急輸送されて“心筋梗塞”と診断されました。救急のカテーテル手術で一命を取り止めたものの、翌夏のソウル囲碁交流は誠に残念ですが中断状態になり、今日まで7年間程交流は止まったままです。

囲碁交流会の目標効果については、

韓国との囲碁交流会を体験したこども達は、名古屋に帰ってからの囲碁の勉強に真剣さが増してきました。私たち世話役は順調な成長ぶりを喜んでいきます。これが一番大きな交流会の効果だと思っています。もう一つは韓国のこども達の礼儀正しさや大人への気くばりに気がついてくれた事があります。帰国してからは、さっそく私たち大人への気くばりが始まりました。

少年少女のマインドスポーツ囲碁クラブ 「いたかクラブ」の発展成長

平成14年4月から公立学校の土曜日が休校になったのを機会に地域中心の囲碁クラブ「いたか」を創設しました。発足当初は10数名でしたが、順次大会参加者が増えて実力も確実に上達してきています。当初からソウルでの囲碁交流者等を中心に囲碁の勉強を真剣に取り組んでくれています。今では「いたかクラブ」で育ったOBが指導者に育っていて後輩の指導にあたっています。

当面、囲碁先進国である韓国との交流が中断状態にあるのは誠に残念ではあります。

日韓市民ネットワーク・なごやの今後のご発展を祈っております。

写真貼り付けスペース

編集室から
편집 후기



梅ヶ枝公園・一宮 「御衣黄」



戸田川緑地公園 「楊貴妃」

遅かった今年の春、梅は一ヶ月も、桜は10日ほど例年より遅く咲き、その桜も遅咲きのサトザクラも見ごろはほぼ終りかけています。そのサトザクラの品種で御衣黄（ギョイコウ）というのがあり、これが咲き始めは黄緑色、そしてピンク色に変化する不思議な花です。ピンク色になると藤の花も咲き始め、毎年の季節感を愉しんでいます。そして5月1日は若葉のころ。 ビージーズの歌「First of May」ですね。

嶽 記



戸田川沿いを散策すると多種のサトザクラに出会えます。一葉・関山・普賢象・麒麟・松月 等その中でも、ひと際 優雅な「楊貴妃」

その昔、興福寺に玄宗という僧がおりました。玄宗はここにあった桜が大好きで、いつも惚れ惚れと眺めていました。いつしか人は、玄宗が大好きな桜のことを「楊貴妃桜」というようになったそうです。

蜜穂 記